### daterange()

開始日式の値から終了日式に至るまで、指定した時間単位ごとに日付値を生成し、リストとして返します。返されるリストには終了日は含まれません。

#### 構文

daterange(START\_DATE, END\_DATE[, INTERVAL{y|mon|w|d|h|m|s}])

必須パラメータ

**START\_DATE**

開始日を返す式を入力します。他の型の値が入力された場合は null を返します。

**END\_DATE**

終了日を返す式を入力します。他の型の値が入力された場合は null を返します。

オプションパラメータ

**INTERVAL{y|mon|w|d|h|m|s}**

時間単位を指定します。s（秒）、m（分）、h（時）、d（日）、w（週）、mon（月）、y（年）単位で指定できます。単位を指定しない場合は 1d（1日）が使用されます。

システムの過負荷を防ぐため、daterange() 関数の結果が10万件を超える場合は例外が発生し、クエリが失敗します。

#### 使用例

json "{}" | eval mark\_days= daterange( date("20150901", "yyyyMMdd"), date("20150908", "yyyyMMdd") ) => ["2015-09-01 00:00:00+0900","2015-09-02 00:00:00+0900","2015-09-03 00:00:00+0900","2015-09-04 00:00:00+0900","2015-09-05 00:00:00+0900","2015-09-06 00:00:00+0900","2015-09-07 00:00:00+0900"]json "{}" | eval mark\_days= daterange( date("20150901", "yyyyMMdd"), date("20150902", "yyyyMMdd"), "4h" ) => ["2015-09-01 00:00:00+0900","2015-09-01 04:00:00+0900","2015-09-01 08:00:00+0900","2015-09-01 12:00:00+0900","2015-09-01 16:00:00+0900","2015-09-01 20:00:00+0900"]json "{}" | eval mark\_days=daterange("20150901", "20150908") => null